



「たそがれ」 川野 学さん撮影

### ピンボケ会

### 特選

老いてゆく静けさにゐて菊枯るる

大塚 和子

咳の子に喉飴渡す遊園地

摩治 廣子

咳一つのど飴石から左かな

原口 孝子

### 本選

無雑作に括られ菊の枯れにけり

野上マチ子

年の夜の浄火の盛る宮籠り

花田ムツ子

### 俳句会

(十二月例会)

大庭土筆選

### 短歌会

(一月例会)

矢野京子選

ジョギングで越しゆく若者わが傍を風立ち越し落葉跳ねあぐ

金田トシ子

契約を取らねば帰れぬと銀行の新人社員は又も礼する

原 哲子

パーキンソン症候群とふわが右手叩き捻れど包丁持てず

藤川ミヤ子(パーキンソン病む)

生垣の剪定終へぬ肩の荷がすとんと下りて湯船に浸る

神崎 鈴子

耕して冬眠中を掘りおこしねばけ眼の蛙と出遇ふ

木原トシ子

### 古代の謎フェスティバル実行委員会

12 / 24 火

### 桂川中学校生徒会と放送部に感謝状の贈呈!

昨年10月に開催された古代の謎フェスティバル2013で、新競技の企画運営を行った桂川中学校生徒会と、場内放送や競技の実況を行った放送部。その熱意と行動力に対して、古代の謎フェスティバル実行委員会より感謝状が贈られました。

放送部部長の手柴浩志さんは、「やっていくうちに熱が入ってとても楽しかった」と語りました。



▲生徒会の皆さん。発案した新競技「どろんこムカデ競走」は、フェスティバルの会場を大きく盛り上げました。



▲3年生が引退し、現在放送部部員は手柴さん(右から2番目)1人のみ。「喋るのが好きな人は気軽に入ってほしい」と満面の笑みで話してくれました。

### 編集＊後記

Editorial Postscript

- ▶表紙は桂川町成人式の成人代表、西郷ありささん。成人式当日、寒い中写真撮影に協力していただきました。ありがとうございました。
- ▶今月号では桂川で活動している人や団体を紹介する「けいせんびと」を掲載しました。近所づきあいや地域の交流が減っていると言われていた昨今、桂川町の色々な人や団体を紹介できたらと思っています。周りに「この人を広報で紹介したい!」という方がいれば、ぜひぜひ広報電算係までご連絡ください。
- ▶1歳になった娘が「ばいばい」を覚えました。覚えたのはいいんですが、私がちょっと立ち上がっただけで「ばいばい」をしてきます。「お父さんはいなくても良い」と言われてるようで複雑です。(吉田翔平)

広報誌に関するお問合わせは、広報電算係 ☎ 65・1082 まで

